

健康福祉・病院経営委員会資料  
平成 22 年 6 月 10 日  
病 院 経 営 局

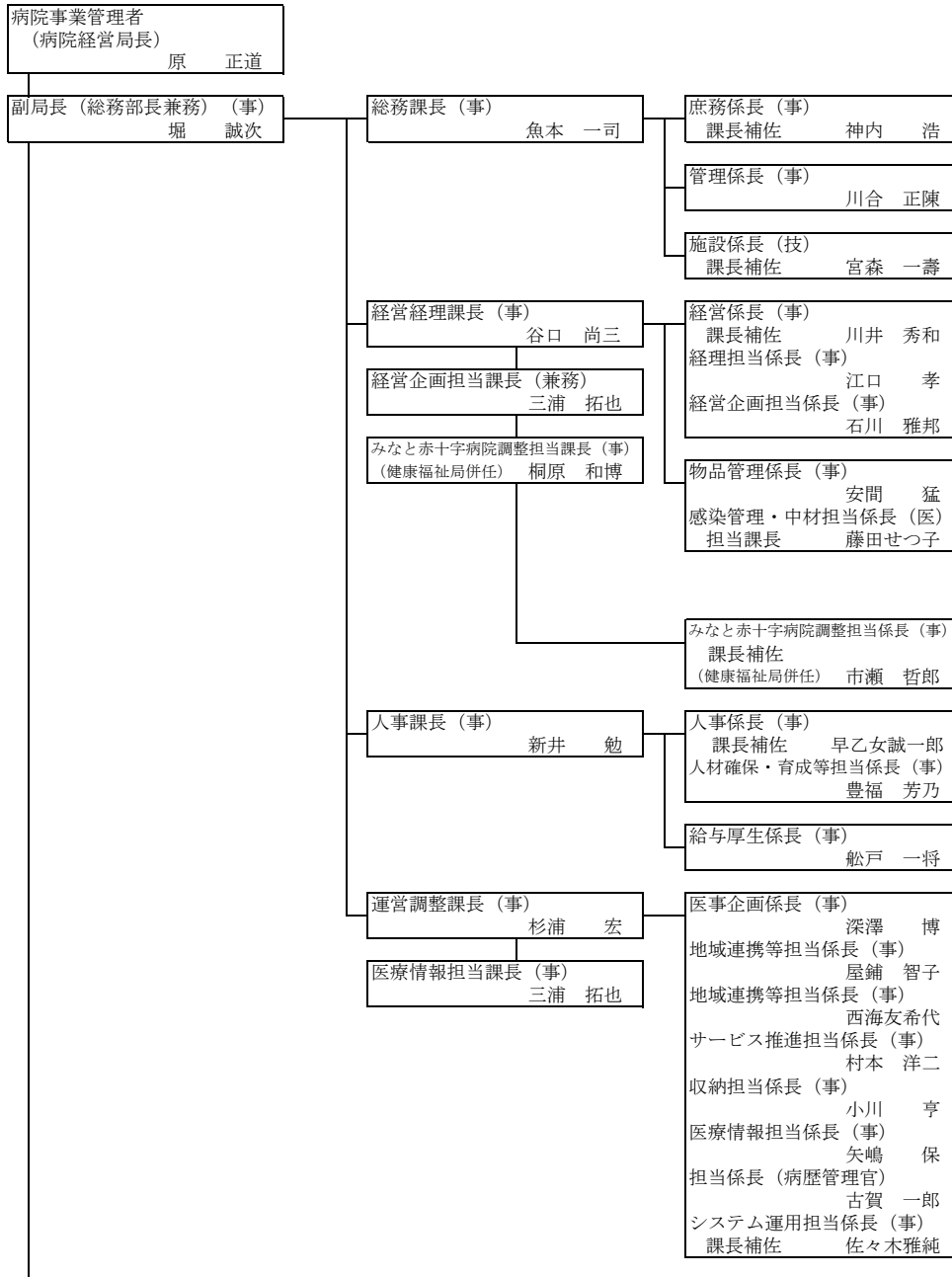
# 機構及び事務分掌

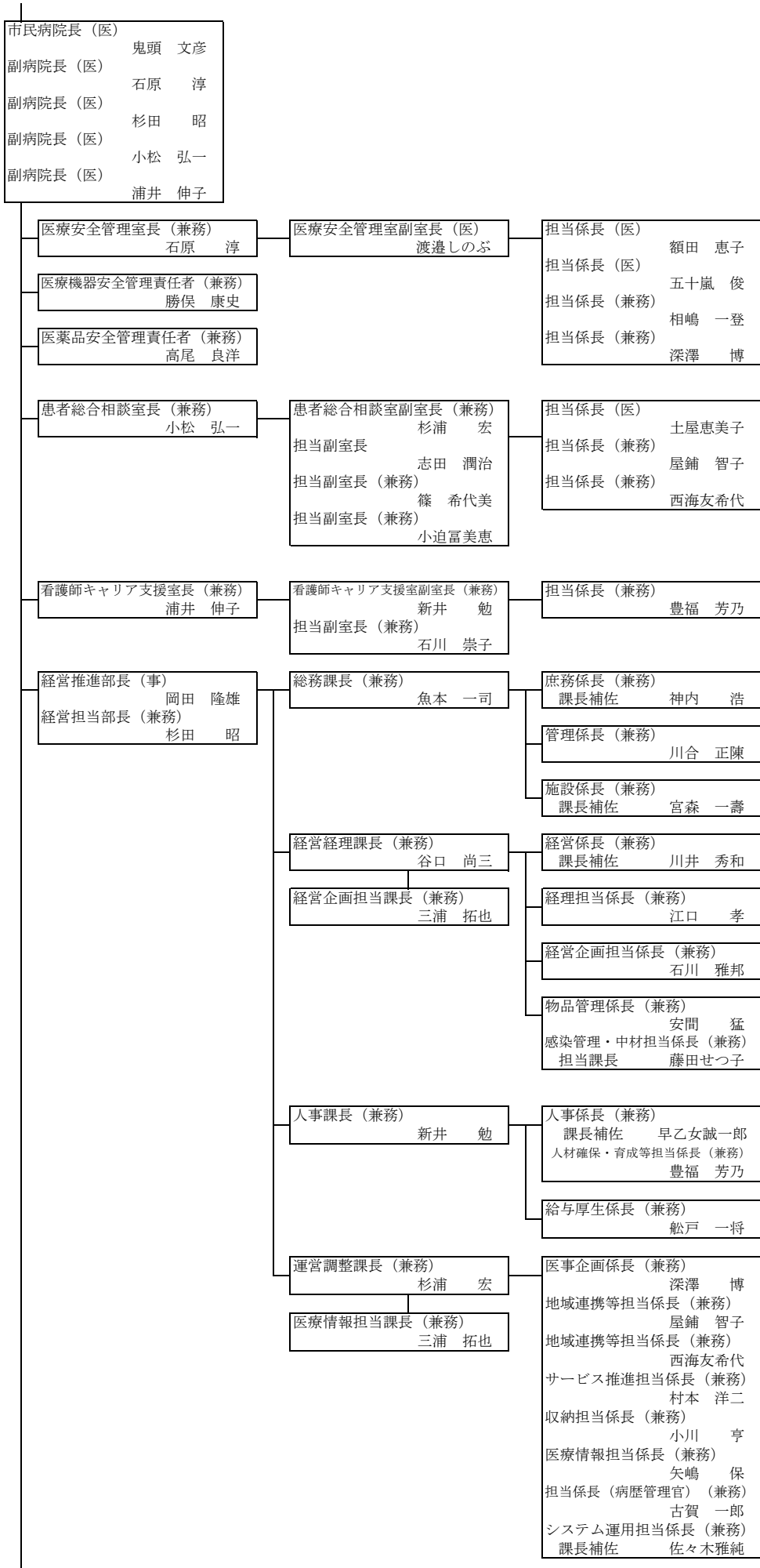
平成 22 年 6 月  
病 院 経 営 局

# 目 次

1	病院経営局機構図	1
2	病院経営局事業所一覽	6
3	病院経営局事務分掌	7

# 1 病院経営局機構図 (平成22年6月10日現在)





内視鏡センター長 (医)  
水上 健

外来化学療法室長 (兼務)  
岡本 浩明

<診療科長>

腎臓内科長 (医) 北澤 孝三  
 糖尿病リハビリ内科長 (兼務) 鬼頭 文彦  
 腫瘍内科長 (兼務) 岡本 浩明  
 神経内科長 (医) 山口 滋紀  
 呼吸器内科長 (医) 岡本 浩明  
 消化器内科長 (兼務) 小松 弘一  
 循環器内科長 (医) 根岸 耕二  
 小児科長 (兼務) 石原 淳  
 消化器外科長 (医) 望月 康久  
 炎症性腸疾患 (IBD) 科長 (兼) 杉田 昭  
 乳腺外科長 (兼務) 石山 暁  
 整形外科長 (医) 中澤 明尋  
 形成外科長 (兼務) 鬼頭 文彦  
 脳神経外科長 (医) 松澤 源志  
 呼吸器外科長 (医) 吉津 晃  
 心臓血管外科長 (医) 浦中 康子  
 皮膚科長 (医) 毛利 忍  
 泌尿器科長 (医) 森山 正敏  
 産婦人科長 (医) 茂田 博行  
 眼科長 (医) 宮田 博  
 耳鼻咽喉科長 (兼務) 鬼頭 文彦  
 神経精神科長 (医) 荒井 宏  
 リハビリテーション科長 (兼務) 鬼頭 文彦  
 放射線診断科長 (医) 勝俣 康史  
 放射線治療科長 (兼務) 勝俣 康史  
 麻酔科長 (医) 曾我 武久  
 感染症内科長 (医) 立川 夏夫  
 救急総合診療科長 (医) 伊卷 尚平  
 病理診断科長 (医) 吉田 幸子  
 緩和ケア内科長 (医) 国兼 浩嗣

<診療担当部長>

神経内科 (医) 林 竜一郎  
 消化器内科 (兼務) 水上 健  
 小児科 (医) 山下 行雄  
 消化器外科 (医) 高橋 正純  
 炎症性腸疾患 (IBD) 科 (医) 小金井一隆  
 整形外科 (医) 竹内 剛  
 放射線診断科 (医) 大越 隆文  
 放射線診断科 (医) 小池 繁臣  
 放射線診断科 (医) 西村 潤一  
 麻酔科 (医) 岩倉 秀雅

<診療科長 (医長) >

血液腫瘍内科長 (医) 仲里 朝周  
 歯科口腔外科長 大澤 孝行

<診療科医長>

循環器内科 (医) 小浦 貴裕  
 心臓血管外科 (医) 岩城 秀行  
 皮膚科 (医) 河野 克之  
 泌尿器科 (医) 太田 純一  
 産婦人科 (医) 武居 麻紀  
 産婦人科 (医) 鈴木 理絵  
 産婦人科 (医) 青木 茂  
 神経精神科 (医) 加藤 紀彦  
 病理診断科 (医) 林 宏行

<診療科副医長>

糖尿病リハビリ内科 (医) 平野 資晴  
 糖尿病リハビリ内科 (医) 今井 孝俊  
 血液腫瘍内科 (医) 相佐 好伸  
 消化器内科 (医) 諸星 雄一  
 消化器内科 (医) 長久保秀一  
 小児科 (医) 若木 明弘  
 小児科 (医) 佐藤 均  
 小児科 (医) 御宮知利美  
 小児科 (医) 栗原 伸芳  
 消化器外科 (医) 松本 千鶴  
 整形外科 (医) 齋藤 泉  
 形成外科 (医) 佐久間 恒  
 泌尿器科 (医) 加藤 喜健  
 耳鼻咽喉科 (医) 稲垣 康治  
 放射線治療科 (医) 栗原須生美  
 麻酔科 (医) 岩倉 久幸  
 救急総合診療科 (医) 松本 順  
 救急総合診療科 (医) 高橋 耕平

リハビリテーション部長 (兼務)  
鬼頭 文彦

担当係長 (技)  
前野 里恵

臨床工学部長 (兼務)  
石原 淳

担当係長 (技)  
相嶋 一登

栄養部長 (兼務)  
杉田 昭

担当係長 (技)  
課長補佐 森 朝子

手術部長 (兼務)  
曾我 武久

画像診断部長 (兼務)  
勝俣 康史

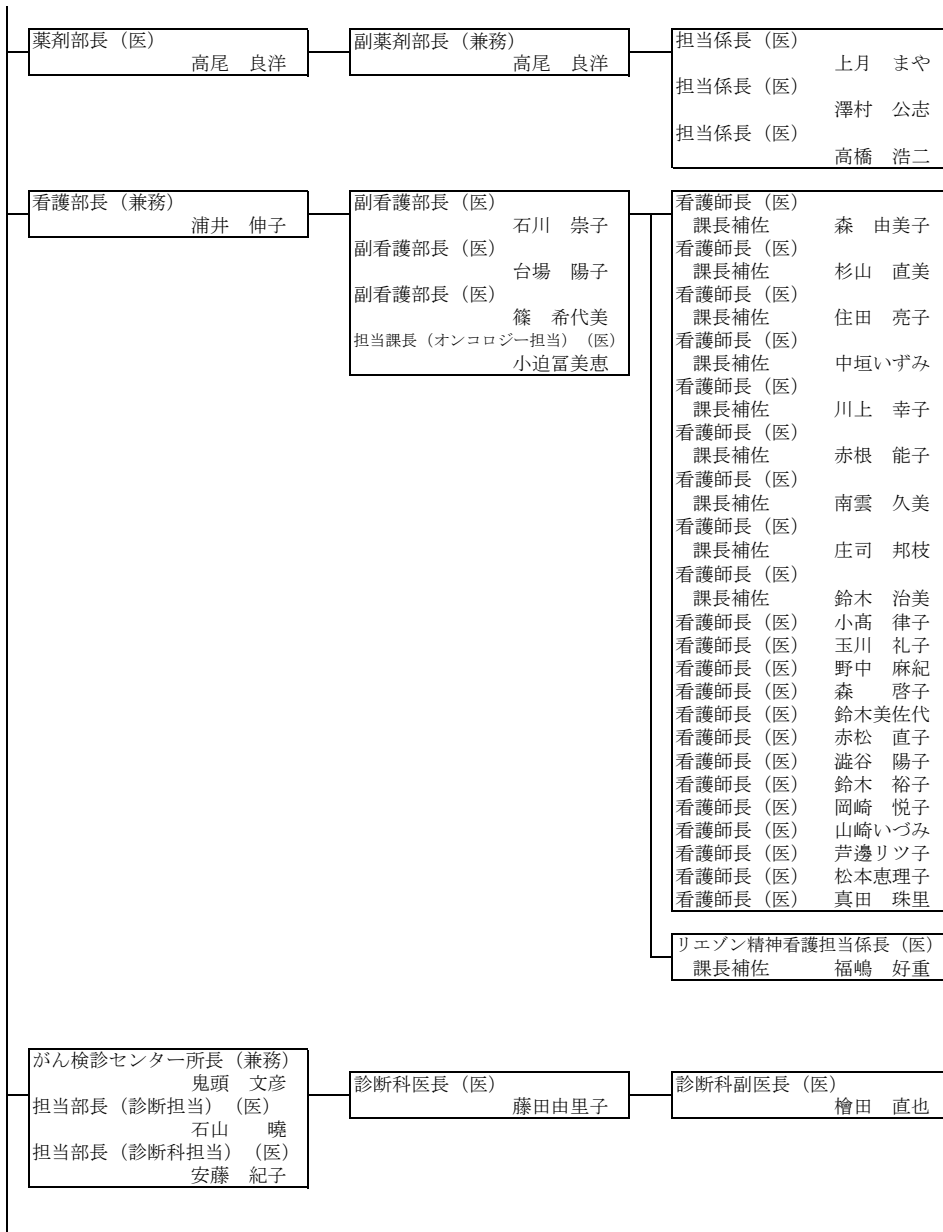
技師長 (技)  
廣島 博

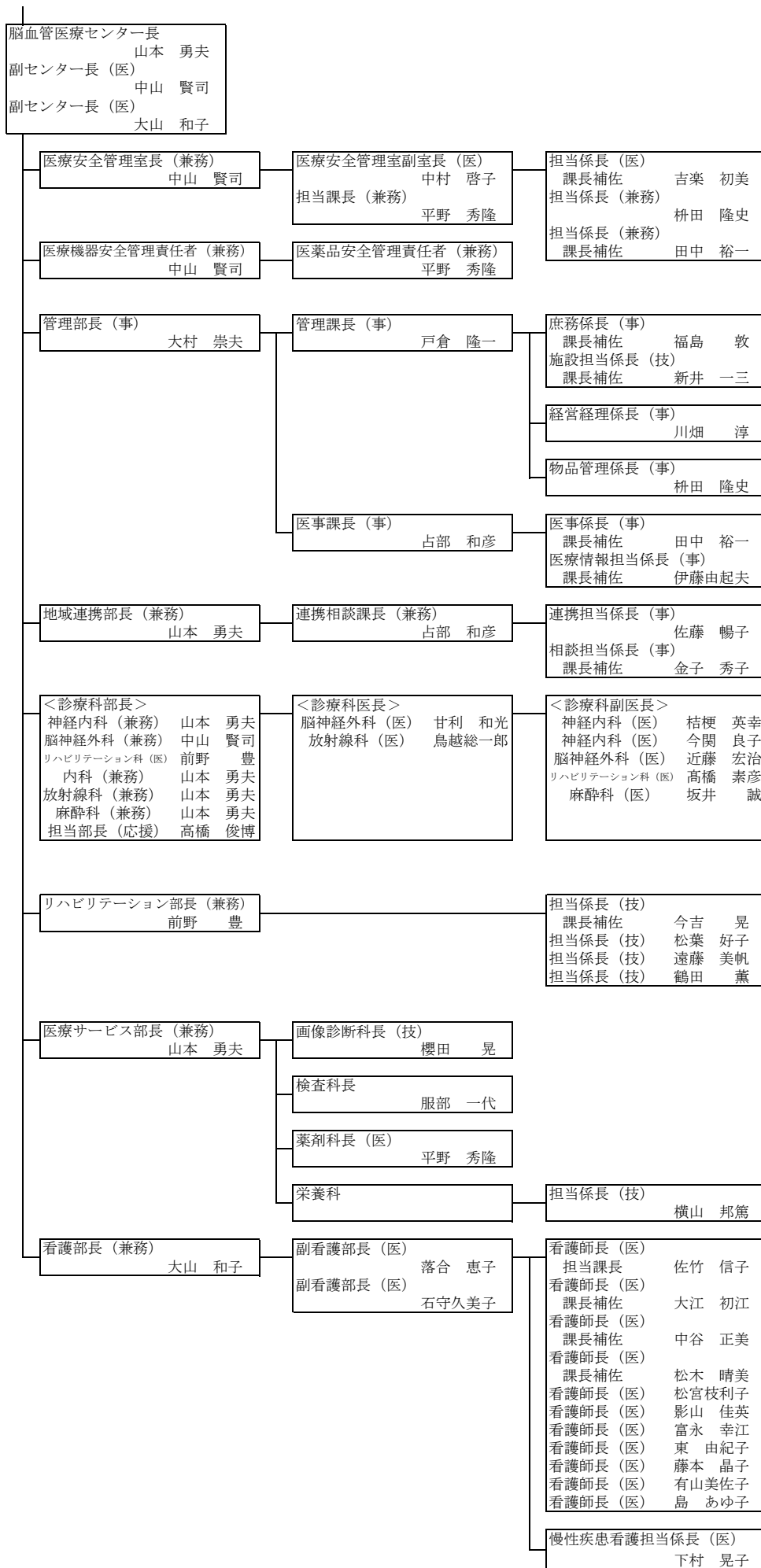
担当係長 (技) 田島 隆道  
 担当係長 (技) 水鳥 俊幸  
 担当係長 (技) 戸田 博幸  
 担当係長 (技) 青柳 孝行

検査部長 (兼務)  
吉田 幸子

技師長

担当係長 (技) 課長補佐 岡本 佳子  
 担当係長 (技) 三田 明子  
 担当係長 (技) 本間 裕一  
 担当係長 (技) 田山 三郎  
 担当係長 (技) 太田 嘉  
 担当係長 (技) 笹原 洋好





## 2 病院経営局事業所一覧

施設の名称	所在地	電話番号
市民病院	保土ヶ谷区岡沢町56番地	(331)1961
脳血管医療センター	磯子区滝頭一丁目2番1号	(753)2500
みなと赤十字病院	中区新山下三丁目12番1号	(628)6100



### 3 病院経営局事務分掌

#### 総務部

##### 総務課

- 1 市会議案の審査に関する事。
- 2 文書に関する事。
- 3 事務事業の連絡調整に関する事。
- 4 危機管理に関する事。
- 5 医療安全に係る附属機関の運営に関する事。
- 6 他の課、市民病院及び脳血管医療センターの主管に属しない事。

##### 経営経理課

- 1 病院事業に関わる重要施策の企画及び調整に関する事。
- 2 病院事業に関わる基本計画の立案及び進行管理に関する事。
- 3 病院経営情報の抽出・分析・活用及び発信に関する事。
- 4 出納に関する事。
- 5 予算及び決算に関する事。
- 6 その他経理に関する事。
- 7 契約に関する事。
- 8 みなと赤十字病院の指定管理者との連絡調整に関する事。
- 9 港湾病院の精算業務に関わる調整に関する事。

##### 人事課

- 1 職員の人事に関する事。
- 2 職員の給与その他労働条件に関する事。
- 3 職員の福利厚生及び衛生管理に関する事。
- 4 職員の研修に関する事。

##### 運営調整課

- 1 市民病院及び脳血管医療センターの情報化の推進に関する事（管理運営を除く。）。

#### 市民病院

##### 医療安全管理室

- 1 医療に係る安全管理対策の推進に関する事。
- 2 医療に係る安全管理についての情報の収集、分析、評価等に関する事。
- 3 医療機器の安全管理に関する事。
- 4 その他医療に係る安全管理に関する事。

##### 患者総合相談室

- 1 地域の医療機関等との連携に関する事。
- 2 地域医療に係る支援業務に関する事。
- 3 患者の医療福祉相談等に関する事。
- 4 患者の転院調整に関する事。
- 5 患者の在宅医療相談等に関する事。
- 6 がん検診事業の管理運営等に関する事。
- 7 その他患者等からの相談の受付、地域医療関係事務に関する事。

## 看護師キャリア支援室

- 1 看護職員の確保、教育、研修に関すること。

## 経営推進部

### 総務課

- 1 文書に関すること。
- 2 院内の事務の連絡調整に関すること。
- 3 運営管理に関すること。
- 4 施設認定に関すること。
- 5 土地、建物、設備及び工作物の管理に関すること。
- 6 施設等の維持管理に関すること。
- 7 修繕工事の施行に関すること。
- 8 他の部、科、課及びがん検診センターの主管に属しないこと。。

### 経営経理課

- 1 経営の分析に関すること。
- 2 予算及び決算に関すること。
- 3 収入及び支出の手続に関すること。
- 4 病院経営情報の抽出・分析・活用及び発信に関すること
- 5 その他経理に関すること。
- 6 物品の購入及び保管並びに不用品の処分に関すること。
- 7 契約に関すること。
- 8 診療材料器材の洗浄、滅菌、管理等に関すること。
- 9 感染管理に関すること。

### 人事課

- 1 人事に関すること。
- 2 給与に関すること。
- 3 福利厚生・衛生管理に関すること。

### 運営調整課

- 1 医事業務に係る運営企画及び調整に関すること。
- 2 施設基準に関する社会保険事務局への申請、届出及び報告に関すること。
- 3 診療に係る契約に関すること。
- 4 診療収入その他収入金の調定及び納入通知に関すること。
- 5 診療収入その他収入金の収納、減免、滞納整理に関すること。
- 6 患者の諸証明に関すること。
- 7 診療報酬請求に関すること。
- 8 医事紛争等の調整に関すること。
- 9 診療情報の管理に関すること。
- 10 医療情報システムの管理運営に関すること。
- 11 院内がん登録に関すること。

### 内視鏡センター

- 1 内視鏡検査、治療に関すること。
- 2 その他内視鏡検査に関すること

### 外来化学療法室

- 1 外来科学療法による治療に関する事。
- 2 その他外来化学療法による治療に関する事

#### 診療科

- 1 患者の診療に関する事。
- 2 医学の研究に関する事。
- 3 放射線診療に関する事。
- 4 救急診療の運営に関する事。
- 5 感染症病床の運営に関する事。
- 6 感染症患者の診療に関する事。
- 7 栄養指導、改善、研究及び衛生管理に関する事。
- 8 治療用器具の整備及び保管並びに診療室の管理に関する事。
- 9 その他診療に付随する事務に関する事。

#### リハビリテーション部

- 1 患者等のリハビリテーションに関する事。
- 2 リハビリテーション部所管の医療用器材及び設備の管理に関する事。
- 3 その他リハビリテーションに関する事。

#### 臨床工学部

- 1 生命維持管理装置の操作及び保守点検に関する事。
- 2 その他医療機器の保守点検に関する事。

#### 栄養部

- 1 患者の栄養指導に関する事。
- 2 入院患者等の給食に関する事。
- 3 調理室の管理並びに給食用器の消毒及び保管に関する事。

#### 手術部

- 1 手術室の運営に関する事。

#### 画像診断部

- 1 画像診断装置による検査に関する事。
- 2 画像診断部所管の医療用器材及び設備の管理に関する事。
- 3 その他放射線業務に関する事。

#### 検査部

- 1 生化学、細菌、生理その他医学的臨床検査に関する事。
- 2 病理解剖に関する事。
- 3 検査用器具の整理及び保管に関する事。
- 4 その他検査に関する事

#### 薬剤部

- 1 調剤、製剤及び投薬に関する事。
- 2 薬品の鑑定及び試験分析に関する事。
- 3 薬品、麻薬及び薬用材料の出納及び保管に関する事。
- 4 その他薬事に関する事。

#### 看護部

- 1 患者の看護及び診療の補助に関する事。

- 2 看護部の職員の配置に関する事。
- 3 出生児の保育に関する事。
- 4 入院患者の保健指導及び環境管理に関する事。
- 5 病室の管理に関する事。
- 6 がん検診センター受診者の問診及び検診結果管理等に関する事。
- 7 その他看護に関する事。

#### がん検診センター

##### 診断科

- 1 受診者の診断に関する事。
- 2 医学の研究に関する事。
- 3 診断用機械器具の整備及び保管に関する事。
- 4 その他診断に付随する事務に関する事。

#### 脳血管医療センター

##### 医療安全管理室

- 1 医療に係る安全管理対策の推進に関する事。
- 2 医療に係る安全管理についての情報の収集、分析、評価等に関する事。
- 3 医療機器の安全管理に関する事。
- 4 その他医療に係る安全管理に関する事。

#### 管理部

##### 管理課

- 1 人事及び文書に関する事。
- 2 センター内の事務の連絡調整に関する事。
- 3 土地、建物、設備及び工作物の管理に関する事。
- 4 事業用地等の賃借に関する事。
- 5 施設の警備に関する事。
- 6 修繕工事の施行に関する事。
- 7 センター内の環境衛生に関する事。
- 8 電気工作物の保安に関する事。
- 9 他の部、科及び課の主管に属しないこと。
- 10 予算及び決算に関する事。
- 11 収入及び支出の手續に関する事。
- 12 経営の分析に関する事。
- 13 脳血管医療センターに附置された介護老人保健施設（以下「介護老人保健施設」という。）の指定管理者との連絡調整に関する事（他の部、課の主管に属するものを除く。）。
- 14 物品の購入及び保管並びに不用品の廃棄処分に関する事。
- 15 契約に関する事。
- 16 医療用器材の洗浄、滅菌、管理等に関する事。

##### 医事課

- 1 患者の受付等及び入退院に関する事（他の部、課の主管に属するものを除く。）。
- 2 診療収入その他収入金の徴収、減免等に関する事。
- 3 診療報酬及び診療契約に関する事。

- 4 患者の医療費等の証明に関する事。
- 5 診療情報の管理に関する事。
- 6 医療情報システムの管理等に関する事。
- 7 医療に係る安全管理についての庶務に関する事。
- 8 その他医事に関する事。

#### 地域連携部

##### 連携相談課

- 1 地域の医療機関等との連携に関する事。
- 2 患者の医療福祉相談及び看護相談に関する事。
- 3 総合相談窓口に関する事。
- 4 介護老人保健施設の入所調整に関する事。
- 5 その他地域連携・医療相談に関する事。

##### 診療科

- 1 患者等の診療及びサービスの提供に関する事。
- 2 医学の研究に関する事。
- 3 放射線診療に関する事。
- 4 診療科所管の医療用器材、設備及び診察室の管理に関する事。
- 5 その他診療及びサービスの提供に付随する事務に関する事。

#### リハビリテーション部

- 1 患者等のリハビリテーションに関する事。
- 2 リハビリテーション部所管の医療用器材及び設備の管理に関する事。
- 3 その他リハビリテーションに関する事。

#### 医療サービス部

##### 画像診断科

- 1 画像診断装置による検査に関する事。
- 2 画像診断科所管の医療用器材及び設備の管理に関する事。
- 3 その他放射線業務に関する事。

##### 検査科

- 1 生化学、細菌、生理その他医学的臨床検査に関する事。
- 2 病理解剖に関する事。
- 3 検査科所管の医療用器材及び設備の管理に関する事。
- 4 その他検査に関する事。

##### 薬剤科

- 1 調剤、製剤及び投薬に関する事。
- 2 薬品の鑑定及び試験分析に関する事。
- 3 薬品、麻薬及び薬用材料の出納及び保管に関する事。
- 4 薬剤管理指導に関する事。
- 5 薬剤科所管の医療用器材及び設備の管理に関する事。
- 6 その他薬事に関する事。

##### 栄養科

- 1 入院又は入所している患者等の給食に関する事。
- 2 患者等の栄養指導に関する事。

- 3 栄養科所管の器具及び設備の管理に関する事。
- 4 その他栄養に関する事。

看護部

- 1 患者の看護及び診療の補助に関する事。
- 2 看護部の職員の配置に関する事。
- 3 入院患者の保健指導及び環境管理に関する事。
- 4 病室の管理に関する事。
- 5 その他看護に関する事。

# 事業概要

平成 22 年 6 月  
病院 経営 局

## 事業概要 目次

	ページ
1 病院事業の基本方針	..... 1
2 病院事業会計 予算総括表	..... 2
3 各市立病院の概要と予算の状況	..... 3
(1) 市民病院	..... 3
(2) 脳血管医療センター	..... 6
(3) みなと赤十字病院	..... 9
4 病院事業全体の取組	..... 12
5 一般会計繰入金の詳細	..... 13
(1) 市民病院	..... 13
(2) 脳血管医療センター	..... 14
(3) みなと赤十字病院	..... 15
【参考】用語解説	..... 17



## 1 病院事業の基本方針

---

これまで、各市立病院では、それぞれの特徴を生かし、安全・安心で質の高い医療サービスの提供に努めてきました。

市民病院ではがん診療機能や救急医療を、脳血管医療センターでは急性期から回復期までの一貫した医療やリハビリテーションを、また、みなと赤十字病院（指定管理者による運営）では政策的医療の確実な実施をすすめてきました。

近年の病院経営を取り巻く状況は、22年度の診療報酬改定では、全体として0.19%と小幅ながら10年ぶりのプラス改定となりましたが、医師・看護師の不足や、これまでの度重なる診療報酬のマイナス改定などにより、依然として厳しい経営環境であることに変わりありません。

そのような中、各市立病院が、今後も公立病院としての役割を適切に果たしていくために、20年度に策定した「横浜市立病院中期経営プラン（平成21～23年度）」の基本方針である、

- 政策的医療や高度・先進医療など、質の高い医療を継続的・安定的に提供し、市民の安全・安心を守ること
- 広く市民や医療機関を対象とした、予防・啓発活動や、安全管理などの先進的取組を通じて、地域医療全体の質向上に貢献するため、公立病院として先導的な役割を果たすこと
- 引き続き徹底した経営改善に取り組み、自立した経営を目指すこと

を念頭に置いた病院経営を行うとともに、プランで定めた具体的な取組を、着実に実施してまいります。

また、市立病院の抜本的な経営改善や、経営に係る基本的な課題を検討するために設置した「横浜市立病院経営委員会」での答申を踏まえ、今後の市立病院経営の方向性を検討してまいります。

## 2 病院事業会計 予算総括表

### 【収益的収支】

(単位 千円)

	平成22年度	平成21年度	差引増減
収益的収入	25,223,644	25,014,152	209,492
市民病院	16,994,105	16,834,615	159,490
脳血管医療センター	6,510,611	6,427,365	83,246
みなと赤十字病院	1,718,928	1,752,172	△ 33,244
収益的支出	28,014,456	28,372,587	△ 358,131
市民病院	17,351,788	17,496,758	△ 144,970
脳血管医療センター	7,483,701	7,636,068	△ 152,367
みなと赤十字病院	3,178,967	3,236,290	△ 57,323
旧港湾病院	-	3,471	△ 3,471
収益的収支	△ 2,790,812	△ 3,358,435	567,623

### 【資本的収支】

(単位 千円)

	平成22年度	平成21年度	差引増減
資本的収入	2,751,384	3,151,852	△ 400,468
市民病院	806,173	1,189,623	△ 383,450
脳血管医療センター	648,833	685,700	△ 36,867
みなと赤十字病院	1,296,378	1,276,529	19,849
資本的支出	3,828,896	4,296,598	△ 467,702
市民病院	1,243,761	1,690,936	△ 447,175
脳血管医療センター	978,251	1,028,551	△ 50,300
みなと赤十字病院	1,606,884	1,577,111	29,773
資本的収支	△ 1,077,512	△ 1,144,746	67,234

一般会計繰入金	6,690,422	6,668,916	21,506
うち収益的収入	4,389,038	4,424,064	△ 35,026
うち資本的収入	2,301,384	2,244,852	56,532

### 3 各市立病院の概要と予算の状況

#### (1) 市民病院 ( <http://www.city.yokohama.jp/me/byouin/s-byouin/> )

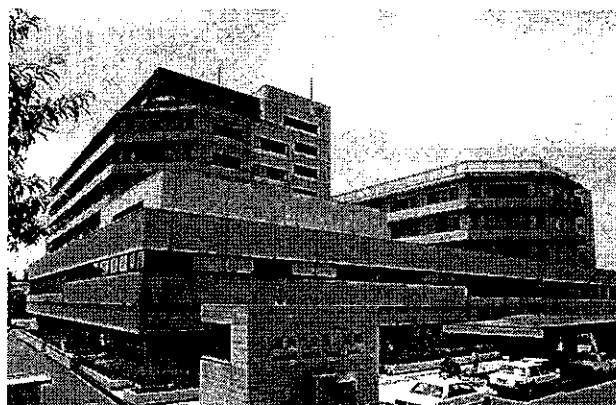
##### 【市民病院の概要】

市民病院は、「がん」「救急」「感染症」を三本柱とした高度医療・急性期医療の提供や、「小児科」「産科」などの地域に必要な医療を提供しています。また、安全管理対策や予防・啓発活動などを通じて、地域医療全体の質向上に貢献するため、先導的な役割を果たしてまいります。

開	院	昭和 35 年 10 月 18 日
所	在	地 保土ヶ谷区岡沢町 5 6 番地
敷	地	面 積 20,389㎡
建	物	延床面積
		病院 37,292㎡
		がん検診センター 4,212㎡
		付属施設 1,744㎡
病	床	数 650床 (一般624床、感染症26床)
診	療	科 32科
		腎臓内科、糖尿病リウマチ内科、血液腫瘍内科、腫瘍内科、 神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、 消化器外科、炎症性腸疾患 (IBD) 科、乳腺外科、 整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、 心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、 耳鼻咽喉科、神経精神科、リハビリテーション科、 放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、歯科口腔外科、 感染症内科、救急総合診療科、病理診断科、緩和ケア内科

##### 市民病院の特徴

- 救命救急センター
- 横浜市二次救急拠点病院
- 横浜市脳血管疾患救急医療機関
- 神奈川県災害医療拠点病院
- 地域周産期母子医療センター
- 神奈川周産期救急医療システム中核病院
- 横浜市周産期救急連携病院
- 横浜市小児救急拠点病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 緩和ケア医療
- 第一種感染症指定医療機関
- 第二種感染症指定医療機関
- エイズ診療拠点病院
- 臨床研修指定病院
- 地域医療支援病院
- (財)日本医療機能評価機構認定病院



【22年度予算の状況】

〔収益的収支〕

(単位 千円)

	平成22年度	平成21年度	差引増減	説明
市民病院 収益的収入	16,994,105	16,834,615	159,490	
入院収益	10,818,600	10,585,000	233,600	1日平均患者数570人
外来収益	3,948,750	3,932,500	16,250	1日平均患者数1,300人
一般会計繰入金	1,204,584	1,216,440	△ 11,856	
その他	1,022,171	1,100,675	△ 78,504	室料差額収益など
市民病院 収益的支出	17,351,788	17,496,758	△ 144,970	
給与費	9,431,805	9,388,442	43,363	職員給与費など
材料費	4,045,017	4,165,119	△ 120,102	薬品費、 診療材料費など
経費等	2,873,832	2,802,402	71,430	委託料、光熱水費など
減価償却費等	850,430	932,681	△ 82,251	
支払利息等	150,704	208,114	△ 57,410	

収益的収支	△ 357,683	△ 662,143	304,460	
-------	-----------	-----------	---------	--

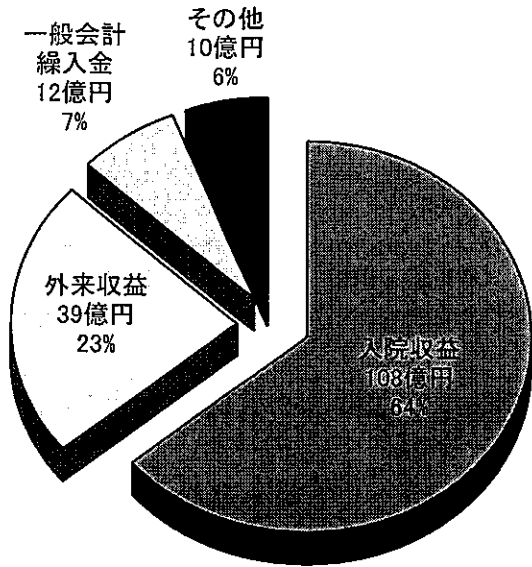
〔資本的収支〕

(単位 千円)

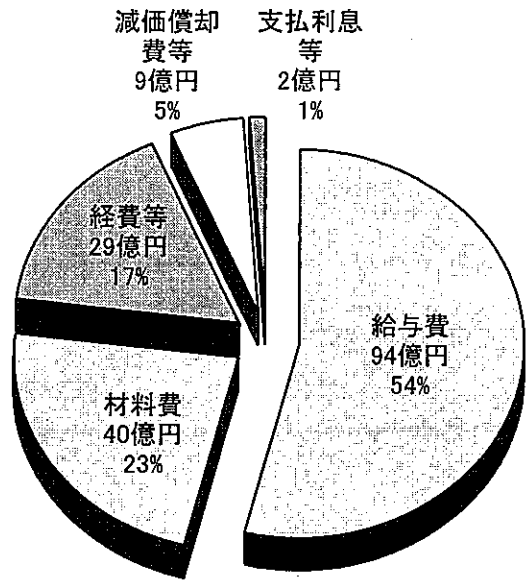
	平成22年度	平成21年度	差引増減	説明
市民病院 資本的収入	806,173	1,189,623	△ 383,450	
企業債	400,000	807,000	△ 407,000	
一般会計繰入金	406,173	382,623	23,550	
市民病院 資本的支出	1,243,761	1,690,936	△ 447,175	
建設改良費	600,000	610,000	△ 10,000	医療備品購入費など
企業債償還金	631,761	1,080,936	△ 449,175	
投資	12,000	-	12,000	看護学生に対する奨学金

資本的収支	△ 437,588	△ 501,313	63,725	
-------	-----------	-----------	--------	--

収益的収入 170億円

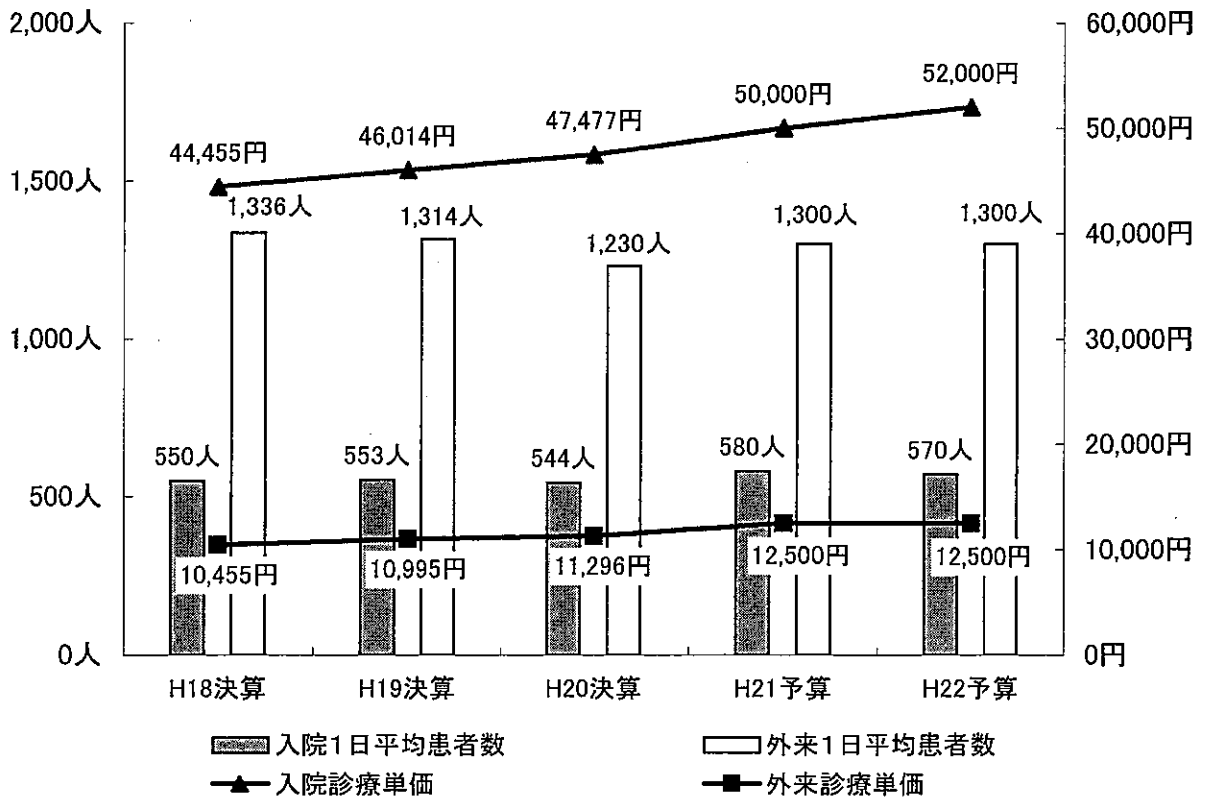


収益的支出 174億円



※表中の数値は億円未満は各項目で四捨五入しているため、合計と一致しない箇所があります。

入院・外来収益指標の推移



## (2) 脳血管医療センター ( <http://www.city.yokohama.jp/me/byouin/nou/> )

### 【脳血管医療センターの概要】

脳血管医療センターは、脳血管疾患専門病院として、脳卒中の急性期から回復期までの一貫した治療とリハビリテーションを実施しています。また、地域医療機関等との連携や脳卒中の予防・啓発に取り組むことで、地域全体の医療の質向上に努めています。

開	院	平成11年8月1日					
所	在	地	磯子区滝頭一丁目2番1号				
敷	地	面	積	18,503㎡			
建	物	延	床	面	積	病院	35,324㎡ (地下駐車場等を含む)
						介護老人保健施設	3,413㎡
						職員宿舎	3,056㎡
病	床	数	300床				
診	療	科	6科				
			内科、神経内科、脳神経外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科				
介護老人保健施設	定員	入所	80人	通所	25人		

※介護老人保健施設は、指定管理者による運営及び利用料金制を導入しています。

### 脳血管医療センターの特徴

- 急性期から回復期までの一貫した治療とリハビリテーションに取り組む脳血管疾患専門病院
- 24時間365日の脳血管疾患救急医療
- 横浜市脳血管疾患救急医療機関
- 指定管理者（社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス）による併設介護老人保健施設（コスモス）の運営
- (財)日本医療機能評価機構認定病院



【22年度予算の状況】

〔収益的収支〕

(単位 千円)

	平成22年度	平成21年度	差引増減	説明
脳血管医療センター 収益的収入	6,510,611	6,427,365	83,246	
入院収益	3,656,862	3,525,900	130,962	1日平均患者数276人
外来収益	330,480	317,504	12,976	1日平均患者数160人
一般会計繰入金	2,252,319	2,260,121	△ 7,802	
介護老人保健 施設収益	27,300	27,300	-	
その他	243,650	296,540	△ 52,890	室料差額収益等
脳血管医療センター 収益的支出	7,483,701	7,636,068	△ 152,367	
給与費	3,851,755	3,866,091	△ 14,336	職員給与費等
材料費	567,459	562,930	4,529	薬品費、診療材料費等
経費等	1,332,167	1,445,290	△ 113,123	委託料、光熱水費等
減価償却費等	1,182,279	1,190,596	△ 8,317	
支払利息等	428,794	448,254	△ 19,460	
介護老人保健 施設費用	121,247	122,907	△ 1,660	支払利息、減価償却費等

収益的収支	△ 973,090	△ 1,208,703	235,613	
-------	-----------	-------------	---------	--

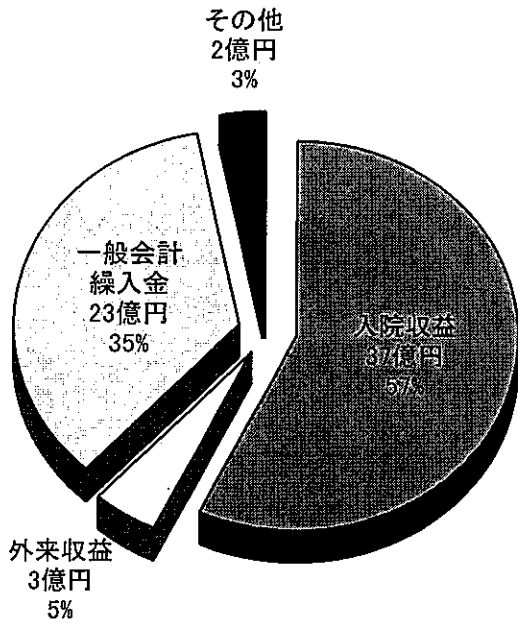
〔資本的収支〕

(単位 千円)

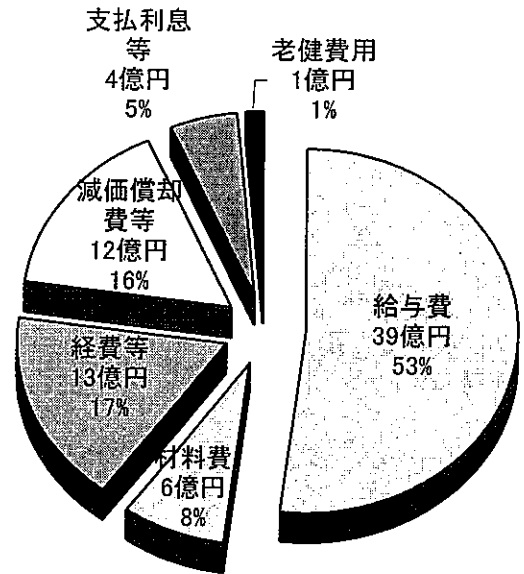
	平成22年度	平成21年度	差引増減	説明
脳血管医療センター 資本的収入	648,833	685,700	△ 36,867	
企業債	50,000	100,000	△ 50,000	
一般会計繰入金	598,833	585,700	13,133	
脳血管医療センター 資本的支出	978,251	1,028,551	△ 50,300	
建設改良費	80,000	150,000	△ 70,000	医療備品購入費等
企業債償還金	898,251	878,551	19,700	

資本的収支	△ 329,418	△ 342,851	13,433	
-------	-----------	-----------	--------	--

収益的収入 65億円

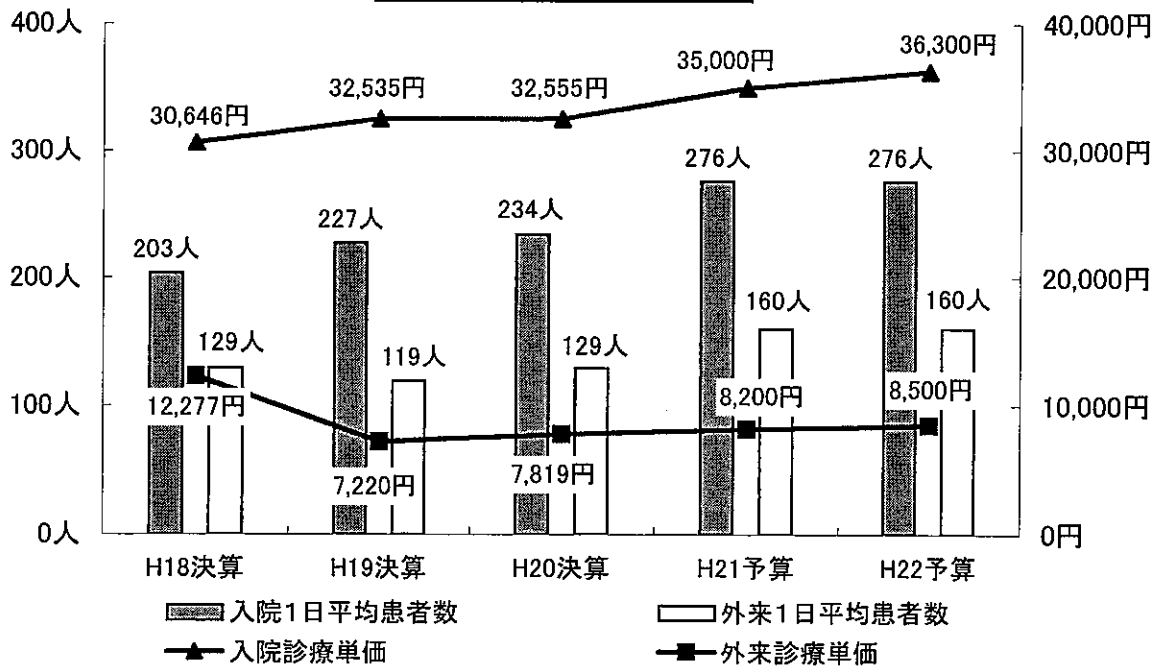


収益的支出 75億円



※表中の数値は億円未満は各項目で四捨五入しているため、合計と一致しない箇所があります。

入院・外来収益指標の推移



介護老人保健施設の経営指標

(社会医療法人ジャパン・メディカル・アライアンス作成の事業計画書より)

	平成22年度	平成21年度	差引増減
入所1日平均利用者数	80人	80人	0人
入所利用単価	12,681円	12,478円	203円
通所1日平均利用者数	25人	25人	0人
通所利用単価	11,652円	14,000円	△2,348円



### (3) みなと赤十字病院 ( <http://www.yokohama.jrc.or.jp/> )

#### 【みなと赤十字病院の概要】

指定管理者が運営する市立病院として、「救急」「アレルギー疾患」「精神科救急」などの政策的医療や、「がん」「心疾患」などの幅広い分野の急性期医療を提供しています。また、市民の健康危機への対応を行うとともに、地域医療全体の質向上に貢献するため、先導的な役割を果たしてまいります。

開	院	平成17年4月1日
所	在	中区新山下三丁目12番1号
敷	地	28,613㎡
建	物	74,148㎡(地下駐車場等を含む)
延	床	634床(一般584床、精神50床)
病	床	23科
診	療	内科、精神科、神経内科、呼吸器科、消化器科、 循環器科、アレルギー科、小児科、外科、整形外科、 形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、 皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、 リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科

#### みなと赤十字病院の特徴

指定管理者(日本赤十字社)による運営及び利用料金制を導入

- 救命救急センター
- 横浜市二次救急拠点病院
- 横浜市脳血管疾患救急医療機関
- 神奈川県災害医療拠点病院
- 神奈川県周産期救急医療システム協力病院
- 横浜市周産期救急連携病院
- 横浜市小児救急拠点病院
- アレルギー疾患医療
- 精神科救急医療
- 精神科合併症医療
- 障害児(者)合併症医療
- 緩和ケア医療
- 地域医療支援病院
- 臨床研修指定病院
- (財)日本医療機能評価機構認定病院



## 【22年度予算の状況】

### 〔収益的収支〕

(単位 千円)

	平成22年度	平成21年度	差引増減	説明
みなと赤十字病院 収益的収入	1,718,928	1,752,172	△ 33,244	
一般会計繰入金	932,135	947,503	△ 15,368	
指定管理者負担金	617,304	617,304	-	
その他	169,489	187,365	△ 17,876	国・県補助金等
みなと赤十字病院 収益的支出	3,178,967	3,236,290	△ 57,323	
経費(交付金)	522,938	509,874	13,064	指定管理者への交付金等
減価償却費等	1,787,490	1,803,642	△ 16,152	
支払利息等	832,539	862,325	△ 29,786	
その他	36,000	60,449	△ 24,449	消費税等

収益的収支	△ 1,460,039	△ 1,484,118	24,079	
-------	-------------	-------------	--------	--

### 〔資本的収支〕

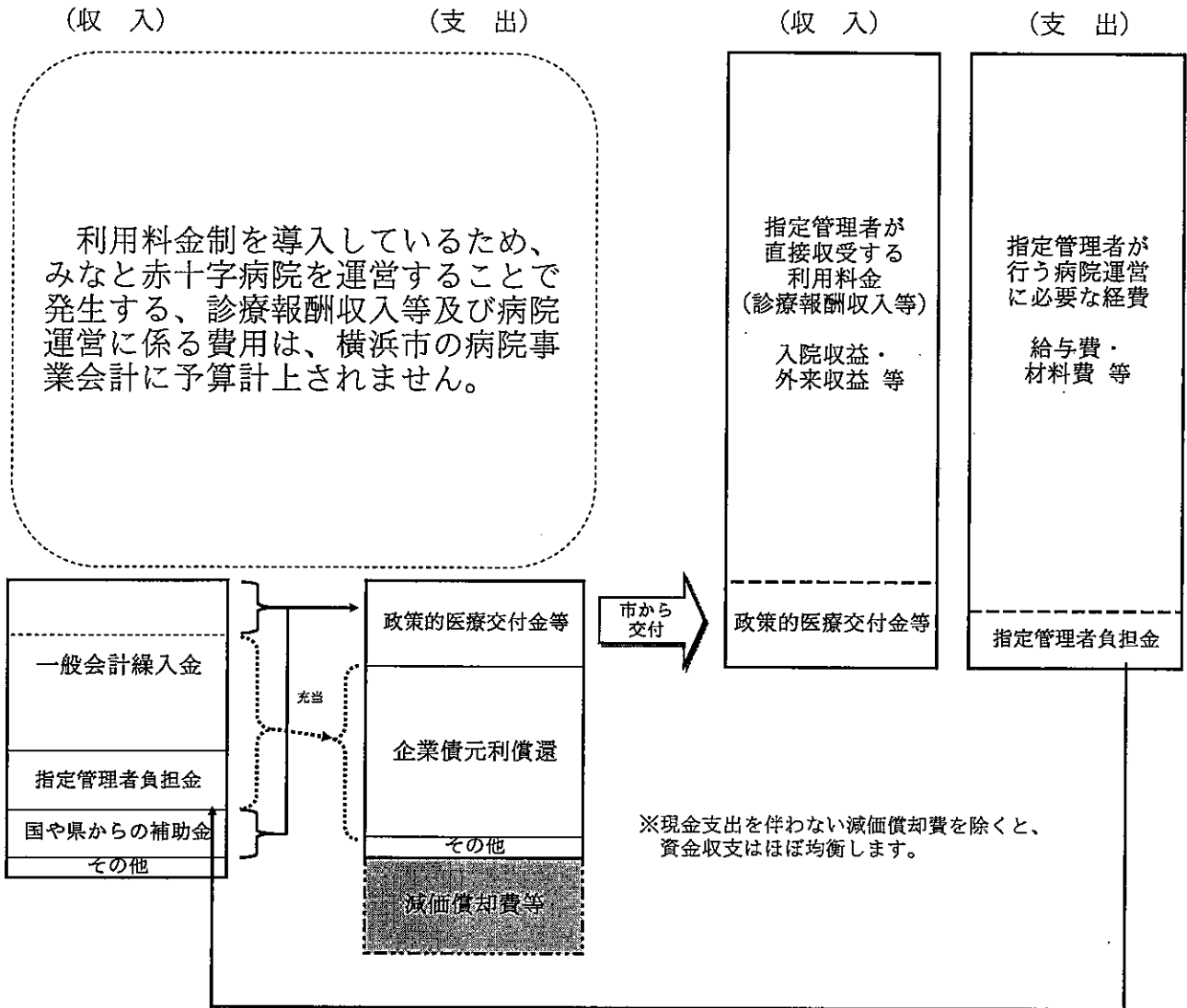
(単位 千円)

	平成22年度	平成21年度	差引増減	説明
みなと赤十字病院 資本的収入	1,296,378	1,276,529	19,849	
一般会計繰入金	1,296,378	1,276,529	19,849	
みなと赤十字病院 資本的支出	1,606,884	1,577,111	29,773	
企業債償還金	1,606,884	1,577,111	29,773	
資本的収支	△ 310,506	△ 300,582	△ 9,924	

## みなと赤十字病院の収支の仕組み（利用料金制）

横浜市の病院事業会計

指定管理者  
日本赤十字社の会計



みなと赤十字病院の経営指標（日本赤十字社作成の事業計画書より）

	平成22年度	平成21年度	差引増減
入院1日平均患者数	550 人	500 人	50 人
入院診療単価	55,000 円	53,000 円	2,000 円
外来1日平均患者数	1,020 人	1,000 人	20 人
外来診療単価	10,000 円	10,000 円	0 円

## 4 病院事業全体の取組

### ○ 医療人材の確保及び効果的な運営体制の構築

市立病院が、政策的医療や高度・先進医療など、安全・安心で質の高い医療を継続的に提供するためには、医療人材の安定的確保が不可欠です。

あわせて、職員にとって働きやすい職場環境の整備に努めつつ、効果的な病院運営のための、より効果的な職員配置を実施します。

#### ➤ 医師・看護師確保の強化

- ・ 「看護学生奨学金貸与制度※」の創設（新規）
- ・ 看護師採用試験の毎月開催及び毎月採用の継続
- ・ 救急医療充実に向けた臨床研究医の積極的公募

#### ➤ 多様な勤務体制・効果的な職員配置

- ・ 多様な勤務体制(女性医師などの復職支援)  
→女性医師などに対する育児短時間勤務制度の充実
- ・ 効果的な職員配置  
→既存部門の業務見直し、救命救急体制強化のための職員配置の増

※看護学生奨学金貸与制度の概要  
卒業後ただちに市立病院（みなと赤十字病院は除く）に就職を希望する看護学生に対し奨学金を貸与する。

#### 貸与額

月額 50,000 円（年額 600,000 円 無利息）

#### 貸与期間

貸与決定年度の 4 月から卒業する月まで

#### 返還免除の条件

市立病院で 3 年間看護業務に従事すること

### ○ 「横浜市立病院中期経営プラン」の点検・評価

中期経営プランで定めた目標の達成に向けて、病院ごとにバランスト・スコアカードを作成し、プランの取組状況について現状把握をするとともに、自己点検による進捗管理を行います。またプラン目標の達成状況については横浜市立病院経営委員会が点検・評価を行い、その結果を公表します。

### ○ 「横浜市立病院経営委員会」への諮問

市立病院の経営に係る基本的な課題について、21 年 6 月に横浜市立病院経営委員会に諮問を行いました。

#### 【横浜市立病院経営委員会について】

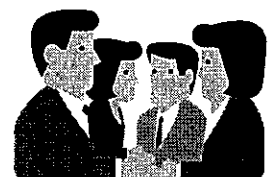
中期経営プランに基づき、病院事業管理者の諮問機関として外部有識者 6 人により平成 21 年 6 月に設置。

#### 【市立病院の経営に係る基本的な課題】

- (1) 脳血管医療センターの抜本的な経営改善
- (2) 市立病院の持続可能な新たな経営形態の検討
- (3) 市立病院の将来的な役割
- (4) 市民病院の老朽化・狭あい化対策

22 年夏頃  
答申予定

23 年夏頃  
答申予定



上記の 4 つの課題を諮問し、その答申を踏まえた上で、今後の病院経営に関する方向性を定めます。

## 5 一般会計繰入金の明細

### (1) 市民病院

(単位 千円)

繰入項目	平成22年度	平成21年度	差引増減	積算の考え方
救急医療経費	149,260	149,260	-	民間病院への補助に準じて繰入れ
感染症病床運営経費	271,804	259,967	11,837	一般医療を行った場合の収支との差額を精査し繰入れ
がん検診センター運営経費	40,084	44,377	△ 4,293	市全体としての事業等に対して精査し繰入れ
地域医療向上経費	128,792	161,002	△ 32,210	地域医療の質向上のための取組に係る費用を精査し繰入れ
企業債元利償還	499,921	513,170	△ 13,249	国の定める基準等により繰入れ
企業債利息	93,748	130,547	△ 36,799	
企業債元金	406,173	382,623	23,550	
基礎年金公的負担	171,735	118,190	53,545	国の定める基準等により繰入れ
地共済追加費用負担	205,416	209,352	△ 3,936	
本部費	143,745	143,745	-	本部運営に要する経費を精査し繰入れ
一般会計繰入金合計	1,610,757	1,599,063	11,694	
うち収益的収入分	1,204,584	1,216,440	△ 11,856	
うち資本的収入分	406,173	382,623	23,550	

## (2) 脳血管医療センター

(単位 千円)

繰入項目	平成22年度	平成21年度	差引増減	積算の考え方
救急医療経費	84,249	84,436	△ 187	民間病院への補助に準じて繰入れ
脳血管疾患医療経費	1,505,770	1,499,560	6,210	一般医療を行った場合の収支との差額を精査し繰入れ
地域医療向上経費	147,157	164,233	△ 17,076	地域医療の質向上のための取組に係る費用を精査し繰入れ
企業債元利償還	894,460	895,064	△ 604	国の定める基準等により繰入れ
企業債利息	295,627	309,364	△ 13,737	
企業債元金	598,833	585,700	13,133	
基礎年金公的負担	81,855	59,095	22,760	国の定める基準等により繰入れ
地共済追加費用負担	98,904	104,676	△ 5,772	
本部費	38,757	38,757	-	本部運営に要する経費を精査し繰入れ
一般会計繰入金合計	2,851,152	2,845,821	5,331	
うち収益的収入分	2,252,319	2,260,121	△ 7,802	
うち資本的収入分	598,833	585,700	13,133	

### (3) みなと赤十字病院

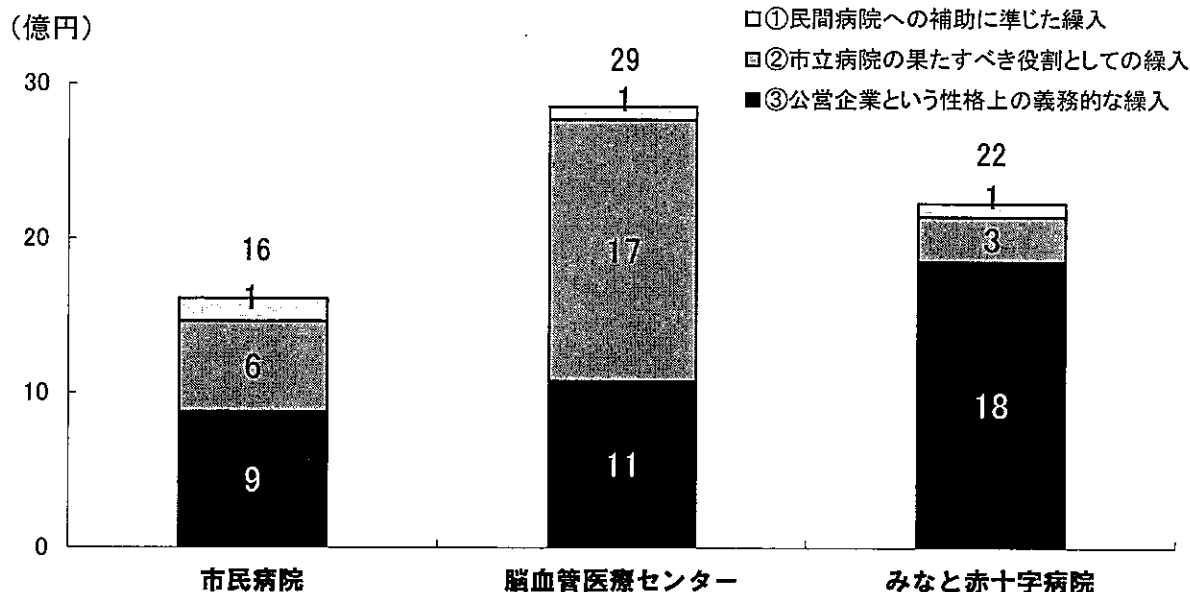
(単位 千円)

繰入項目	平成22年度	平成21年度	差引増減	積算の考え方
救急医療経費 ※	58,000	51,899	6,101	民間病院への補助に準じて繰入れ
アレルギー疾患医療経費 ※	240,211	240,211	-	アレルギー疾患医療に係る経費を精査し繰入れ
精神科医療経費 ※	28,811	26,629	2,182	精神科救急医療等民間病院への補助に準じて繰入れ
企業債元利償還	1,851,182	1,851,182	-	
企業債利息	554,804	574,653	△ 19,849	国の定める基準等により繰入れ
企業債元金	1,071,255	1,051,407	19,848	
高資本費対策	225,123	225,122	1	1 免震構造やヘリポート設置などによる整備費割増分等
利子補助 ※	50,309	54,111	△ 3,802	開院時の日本赤十字社の医療機器等の整備に要する資金調達に係る利子補助相当額
一般会計繰入金合計	2,228,513	2,224,032	4,481	
うち収益的収入分	932,135	947,503	△ 15,368	
うち資本的収入分	1,296,378	1,276,529	19,849	

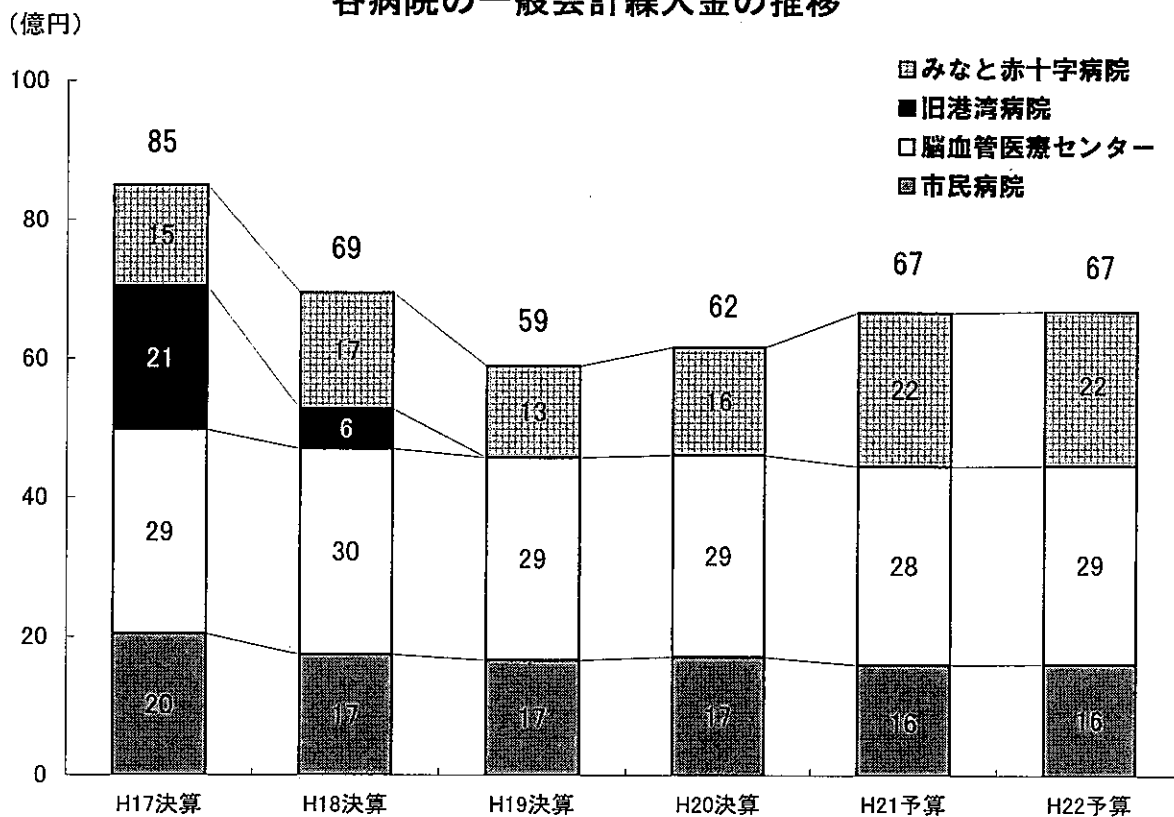
※ 指定管理者に交付

○ 病院別の繰入金内訳

各病院の一般会計繰入金の性質別内訳(22年度予算)



各病院の一般会計繰入金の推移



※17年度以降の旧港湾病院は、閉院に伴う残務処理に対する繰入金を記載しています。

※表中の数値は億円未満を各項目で四捨五入しているため、合計と一致しない箇所があります。



**え エイズ診療拠点病院〔市民病院〕**

エイズ治療の拠点病院として、各都道府県において選定された病院で、総合的なエイズ診療の実施、必要な医療機器及び個室の整備、カウンセリング体制の整備、他の地域医療機関との連携、院内感染防止体制の整備などがされている。

**か 神奈川県災害医療拠点病院〔市民病院・みなと赤十字病院〕**

発災時に地域の医療機関の後方医療機関として支援する機能を有する病院で、重症・重篤な傷病者を受け入れるなど、災害時の医療救護活動において中心的な役割を担う病院。

**緩和ケア〔緩和ケア病棟病床数 市民病院：20床 みなと赤十字病院：25床〕**

がん患者さんなどに対して、疼痛などの身体症状の緩和や精神症状に対するケアなどを行い、QOL (quality of life：生活の質) の向上を支援すること。

**き 企業債元利償還金**

建物整備や医療機器の購入のために発行する債券（公営企業債）の元金及び利息の償還金。

**救命救急センター〔市民病院・みなと赤十字病院〕**

一次及び二次救急医療機関では対応が難しい重篤な救急患者を24時間体制で受け入れる施設。

**し 資本的収入・支出**

一般会計からの出資金や企業債等の収入と、施設や医療機器の整備などの建設改良費や企業債償還金など、それに対応する支出。

**収益的収入・支出**

入院収益や外来収益など、病院の経営活動に伴って発生する収入と、職員給与費や物件費などそれに対応する支出のほか、臨時的な収入・支出などの特別損益が含まれる。

**周産期救急医療システム(神奈川県)〔市民病院：中核病院 みなと赤十字病院：協力病院〕**

神奈川県におけるハイリスク周産期救急患者の受入体制整備のためのシステム。症状の程度により、基幹病院・中核病院・協力病院にそれぞれ搬送されるが、状況に応じて基幹病院が、中核・協力病院に対して患者の受入調整も行う。

**周産期救急連携病院事業(横浜市)〔市民病院・みなと赤十字病院：周産期救急連携病院〕**

神奈川県における周産期救急医療システムを補完する、横浜市独自の周産期救急システムのこと。診療所から依頼を受け、横浜市から指定を受けた「周産期救急連携病院」が24時間365日体制で周産期救急患者の受入を行う。

**せ 精神科救急医療体制 基幹病院〔みなと赤十字病院〕**

三縣市（神奈川県・横浜市・川崎市）共同による精神科救急医療体制において、平日夜間・深夜・休日の警察官通報受付窓口からの精神科救急患者の受入を行う病院。

【参考】基幹病院7病院

北里大学東病院、昭和大学北部病院、済生会東部病院、県立芹香病院、市立川崎病院、市大センター病院、みなと赤十字病院

た **第一種感染症指定医療機関**〔感染症病床数 市民病院：2床〕

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、一類感染症（エボラ出血熱、ペスト等）、二類感染症（ジフテリア、SARS等）又は新型インフルエンザ等感染症の患者の入院を担当させる医療機関として都道府県知事が指定する病院。

**第二種感染症指定医療機関**〔感染症病床数 市民病院：24床〕

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、二類感染症又は新型インフルエンザ等感染症の患者の入院を担当させる医療機関として都道府県知事が指定する病院。

ち **地域医療支援病院**〔市民病院・みなと赤十字病院〕

地域における医療の確保等のために、地域医療機関に対して必要な支援を行う病院で、紹介率や逆紹介率が一定の基準以上であることなど、指定要件のもとに診療報酬上の加算が認められている。

**地域がん診療連携拠点病院**〔市民病院〕

質の高いがん医療を全国で等しく実施できるようにするために、わが国に多いがん（肺がん・胃がん・大腸がん・乳がん等）について、各地域におけるがん診療の連携・支援を推進するために拠点として設けられる病院。県の推薦により保健医療圏ごとに厚生労働大臣が指定する。

**地域周産期母子医療センター**〔市民病院〕

神奈川県より認定を受けた、産科及び小児科等を備え、周産期に係る比較的高度な医療行為を行うことができる医療施設のこと。国の「周産期医療システム整備指針」では、都道府県の周産期医療システムの運営において、総合周産期母子医療センター及び地域周産期母子医療センターを設置することとされている。

に **日本医療機能評価機構**〔市民病院・脳血管医療センター・みなと赤十字病院〕

医療の質の一層の向上を図るために、病院を始めとする医療機関の機能を学術的観点から中立的な立場で評価し、明らかとなった問題点の改善を支援する第三者機関として設立された財団法人。

は **バランス・スコアカード**

経営方針に基づき、「患者・市民の視点」、「財務の視点」、「業務改善の視点」、「人材育成の視点」から各部署で目標を設定し、目標達成に向け行動し、行動結果を評価する経営管理の手法。

り **利用料金制**〔脳血管医療センターの介護老人保健施設、みなと赤十字病院運営に導入〕

指定管理者制度を導入している公の施設の利用料金について、自治体ではなく指定管理者が直接収受する制度。

**臨床研修指定病院**〔市民病院・みなと赤十字病院〕

平成16年に創設された医師臨床研修制度において、「診療に従事しようとする医師は、2年以上、医学を履修する課程を置く大学に附属する病院又は厚生労働大臣の指定する病院において、臨床研修を受けなければならない」と義務づけられた。この臨床研修を実施する病院を臨床研修指定病院という。

## 平成22年度 病院経営局 運営方針

### 基本目標

- 政策的医療や高度・先進医療など、質の高い医療を継続的・安定的に提供し、市民の安全・安心を守ります。
- 広く市民や医療機関を対象とした、予防・啓発活動や、安全管理などの先進的取組を通して、地域医療全体の質向上に貢献するため、公立病院として先導的な役割を果たします。
- 引き続き徹底した経営改善に取り組み、自立した経営を目指します。

### 目標達成に向けた施策・運営

#### 市民病院

- 地域がん診療連携拠点病院、第一種感染症指定医療機関として、がん診療などの強みとなる医療を地域医療機関と連携し推進します。
- 本年指定を受けた「救命救急センター」としての救急医療、周産期医療、小児医療、災害医療の充実を図ります。
- 必要な医師の確保等による職員の負担軽減や環境整備等により職員が満足する病院運営を行うことで、患者満足度向上に繋がります。

#### 脳血管医療センター

- 脳血管疾患専門病院として、急性期から回復期まで一貫した質の高い医療の提供に努めます。
- 地域の保健・医療機関との連携を推進し、脳血管疾患の予防に積極的に取り組むなど、地域医療全体の質向上を図ります。
- 質の高い医療を継続的に提供するために、経営の健全化を目指します。

#### みなと赤十字病院

- 本市との協定に基づき、指定管理者である日本赤十字社が引き続き、救急医療やアレルギー疾患等の政策的医療を提供するとともに、本市として指定管理業務の点検・評価を実施します。

#### 病院事業全体

- 経営委員会の諮問事項のうち、「脳血管医療センターの経営改善」「新たな経営形態の検討」について委員会から出される一定の方向性をもとに、検討を進めます。
- 医療人材の確保に努め、より一層充実した医療提供体制の整備を図ります。

### 目標達成に向けた姿勢

#### ①患者本位の医療

インフォームドコンセントの実践など、患者本位の医療提供に努めます。

#### ②質の高い医療提供

エビデンスに基づいた、質の高い医療の提供に努めます。

#### ③組織横断的な取組

チーム医療の充実やプロジェクトの活用など、組織横断的な取組を実施します。

#### ④人材育成の支援

職員の自己研鑽の意識を支援するため、研修会の開催やスキルアップのための資格取得の促進に努めます。

#### ⑤データに基づいた病院運営

経営及び臨床にかかる指標を充実し、根拠に基づいた病院運営を目指します。

#### ⑥地域医療連携の充実

地域に必要とされる政策的医療を提供する公立病院としての役割を果たすため、地域医療機関との連携を促進します。

## 主な事業・取組

### 1 市民病院

#### 【主な事業・取組】

- 患者満足度向上
- 地域がん診療連携拠点病院としてがん診療体制の充実
- 救命救急センターとして救急医療体制の充実
- 感染症指定医療機関としての役割発揮
- 産科・小児科医療の実施
- 安定した経営
- 医療情報提供・啓発活動の強化
- 職員満足度向上

#### 【指標】

- ⇒入院患者満足度(86.0%以上)、外来患者満足度(78.0%以上)
- ⇒地域連携クリティカルパスの素案策定(関係医療機関調整:通年)、緩和ケア研修会(8月までに開催)
- ⇒救急車搬送による入院件数(2,400件)
- ⇒研修会・訓練の実施(通年)
- ⇒分べん件数(900件)、小児科医師数(11人)、産科医師数(9人)
- ⇒経常収支の均衡、入院診療単価(55,500円)、手術件数(5,000件)
- ⇒クリニカルインディケーター(公表版の検討:通年)
- ⇒看護師離職率(10.0%以下)、職員満足度(40.0%以上)

### 2 脳血管医療センター

#### 【主な事業・取組】

- 患者満足度向上
- 脳卒中救急医療体制における役割発揮
- 予防事業の推進
- 経営の健全化
- 診療体制の充実
- リハビリテーション医療の充実
- 職員満足度向上

#### 【指標】

- ⇒入院患者満足度、外来患者満足度(どちらも90.0%以上)
- ⇒t-PA実施件数(18件)、救急車受入件数(1,000件)
- ⇒予防事業参加者数(3,500人)、脳ドック実施件数(400件)
- ⇒資金収支の早期均衡化、入院診療単価(42,000円)、初診患者数(2,800人)
- ⇒診療・治療内容等臨床データの策定、クリティカルパスの拡充による診療・治療内容の標準化の推進(通年)
- ⇒リハビリテーション開始日(入院後3日以内)
- ⇒看護師離職率(10.0%以下)、職員満足度(50.0%以上)

### 3 病院事業全体

#### 【主な事業・取組】

- 経営委員会における検討
- 医療人材の確保

#### 【指標】

- ⇒「横浜市立脳血管医療センターの経営改善」「市立病院の持続可能な新たな経営形態の検討」について一定の方向性(22年夏ごろ)
- ⇒医師の確保・定着にむけた増員・負担軽減策の検討(計画策定)、導入
- ⇒看護師の多様な勤務体制(二交代等)の導入拡大
- ⇒看護師確保策の充実(国家試験対策講座等採用内定者へのフォロー等)